

NEW WAY  
of  
RAILWAY

2022年7月12日  
西日本旅客鉄道株式会社  
福 井 県  
公益社団法人福井県観光連盟

「地域ものがたるアンバサダー ～美食地質学×第2のふるさとを巡る旅～」  
福井県各地のジオストーリーを発見する「ジオリブ公開講座②」を  
7月23日(土) 福井市越廼会場にて開催。

9～12月開催の「発酵ツーリズムにつぼん/ほくりく」とも連携予定！



<JR西日本×富山県・福井県・鳥取県共同プロジェクト>

西日本旅客鉄道株式会社（大阪市北区、代表取締役社長：長谷川 一明、以下「JR西日本」）は、沿線自治体をはじめとした地域の皆様との協働による西日本エリアの活性化に向けた取り組みのひとつとして、関係人口の創出に取り組んでおります。この度、JR西日本は、富山県、福井県、公益社団法人 福井県観光連盟、鳥取県、株式会社JR西日本コミュニケーションズ、ジオリブ研究所合同会社、一般社団法人Work Design Lab等と共同し「地域ものがたるアンバサダー ～美食地質学×第2のふるさとを巡る旅～」を2022年6月から活動開始しております。7月は、福井県のジオストーリーを紐解く「ジオリブ公開講座②」を福井市の越廼サテライトオフィスにて開催いたします。「美食地質学」を提唱する 翼 好幸先生からの話題提供をひとつの手掛かりに、各地域にて日々活動されている水先案内人や毎月福井県各地を訪問活動中のアンバサダーとの掛け合いも楽しみながら、地域の固有の資源や食文化を紐解くプログラムです。ぜひ現地会場およびオンラインにてご参加ください。

## ○ジオリブ公開講座開催のお知らせ

※詳細は [別紙1] もあわせてご参照ください。

【開催日時】 7/23(土) 14:00～16:00 会場：福井県福井市 越廼サテライトオフィス

【参加形態】 ①現地会場（先着20名様） ②Zoomウェビナー ③後日アーカイブ配信

【参加費】 無 料

【申込み先】 <https://monogataru-02.peatix.com/>

※Peatixからのお申込みが難しい方は、<[monogataru.bureau.2022@gmail.com](mailto:monogataru.bureau.2022@gmail.com)>宛、お名前・参加人数・現地かオンラインかの参加区分をメールご送付ください。



【プログラム概要】 ※登壇予定者のプロフィール等は「別紙1」をご参照ください。

◆第1部（14:00～15:15頃） 巽 好幸先生×佐々木京美さんの特別対談

<テーマ>「越山若水～福井のジオ特性と伝統食・発酵食文化について」

マグマ学者の巽 好幸先生からは、福井のジオストーリーについて、フードディレクターの佐々木京美さんからは、福井の郷土料理について話題提供をいただき、美食地質学と福井の伝統食・発酵食文化を重ねあわせることで見える世界を覗いてみます。

◆第2部（15:20～16:00頃） 水先案内人とのパネルディスカッション

福井県内各地の水先案内人の皆さまから日頃の活動紹介をいただいた後、巽先生との掛け合いから、各地域の食材や食文化×地質学から見えることなどをフリートークします。

○本事業の詳細情報（公式サイト） [https://www.westjr.co.jp/life/living/monogatari\\_ambassador/](https://www.westjr.co.jp/life/living/monogatari_ambassador/)



公式WEBサイト



公式Facebook



Peatix (イベント申込)



公式YouTube

※ 本事業は、令和4年度 観光庁が推進する「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業への採択を受け、「日本海3県アンバサダー推進協議会」が事業を実施するものです。

○9～12月 あわら市にて開催の「発酵ツーリズムにっぽん/ほくりく」とのコラボ企画

新しい旅の提案 “観光連動型展覧会” 「発酵ツーリズムにっぽん/ほくりく」が、2022年9～12月、福井県あわら市の金津創作の森美術館をメイン会場として開催されます。福井県の「地域ものがたるアンバサダー」チームが、これから毎月福井県各地を訪問しながらジオストーリーを見出していく上でも、各地に根付く「発酵文化」は欠かせない要素です。6～11月の7名のアンバサダーの旅の足跡と、巽先生の提唱する「美食地質学」と、北陸各地の発酵文化を重ね合わせながら、会期中のコラボ企画も予定しています。ぜひ発酵ツーリズム会場へも足をお運びください。

「発酵視点で北陸を旅する～展覧会と観光の合わせ技で見たことのない世界へ」

発酵文化はその土地の風土そのもの。ひとつの発酵食品から見えてくる土地の歴史や、人の営み。地域文化が放つ光を美術館の舞台上で「学ぶよろこび=エキシビジョン」に。そして北陸三県を舞台に「出会いのよろこび= ツーリズム」に。

□展覧会名：「Fermentation Tourism Hokuriku～発酵から辿る北陸、海の道」

□会 期：2022年9月17日(土)～12月4日(日)

□主 会 場：金津創作の森美術館 アートコア/福井県あわら市

□主催：(公財) 金津創作の森財団 □共催：あわら市、あわら市教育委員会

□展覧会パートナー：発酵デパートメント、TSUGI

□クリエイティブディレクション：Re:S

※詳細は公式サイトをご覧ください。 <https://fupo.jp/article/hakko-hokuriku/>



以上

今回ご案内の取り組みはSDGsの17のゴールのうち、特に8・11・14・15番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループ



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



JR西日本グループの地域共生の取り組みについて  
私たちはこれからも沿線地域の皆様と一体となって  
魅力的で持続可能な地域づくりに取り組み、  
人々の出会いと笑顔あふれる暮らしを支えます。





## 地域ものがたるアンバサダー 第2回 ジオリブ公開講座

福井県のジオストーリーをご一緒に発掘しましょう

福井県の  
水先案内人の  
みなさま異好幸の  
美食地質学

日本列島と和食の素敵な関係

◆◆ 地域ものがたるアンバサダー × 水先案内人コミュニティが紡ぐ  
美食地質学と第2のふるさとを探す旅 2022 へのご案内 ◆◆

2022年、日本海に面する個性ゆたかな3県「鳥取県・福井県・富山県」を舞台に、各県7名の「地域ものがたるアンバサダー」が、「美食地質学」をひとつの軸として地域の新しい物語・ジオストーリーを発掘し、地域との絆・愛着を深め、地域にくり返し通ったり、コンテンツづくりをご一緒するプログラムにチャレンジしています。

その皮切りとして、福井県各地の美食地質学、ジオストーリーを解き明かす第2回「ジオリブ公開講座」を越前海岸を会場に行います。

## ▶参加者募集▶

(こしの)

【①現地参加枠】先着 20名様：越廼サテライトオフィス  
福井県福井市居倉町43-25 (越前水仙の里公園水仙ドーム内)  
※アクセスはこちら参照 <https://koshino.localinfo.jp/>

【②オンライン参加枠】先着 100名様：Zoomウェビナー形式

▶申込先▶ <https://monogataru-02.peati>

※Peatixをご利用できない方は、下記E-mail宛にお名前・参加人数・現地かオンラインかの区分をご送付ください。  
[monogataru.bureau.2022@gmail.com](mailto:monogataru.bureau.2022@gmail.com)

【主催】日本海3県アンバサダー推進協議会  
【共催】福井県・(公社)福井県観光連盟

## ▶登壇予定パネリストのご紹介▶



## ▶プログラム▶

※お時間は目安のため、変更となる可能性があります。

【第1部】14:00～15:15頃 異先生×佐々木京美さん特別対談

## ＜テーマ＞

「越山若水～福井のジオ特性と伝統食・発酵食文化について」

## ＜ジオリブ研究所 所長 異好幸氏 プロフィール＞

マグマ学者として地球の成り立ちや地震の仕組みなどの研究で世界でも指折りの学術実績を持ち、多くの著作や論文を残している。一方、無類の美食家、酒好きでそれが高じて食と地質の関係を解明しようと著した本「和食はなぜ美味しい」がNHK「ジオジャパン」や毎日新聞「美食地質学入門」でとりあげられ、「美食地質学」の開祖となる。また防災や国土強靱化などでも積極的に発言するジオアクティビストでもある。 <https://geo-live.jp/>

【第2部】15:20～16:00頃 水先案内人とのパネルディスカッション

福井県内各地の水先案内人の皆さまから日頃の活動紹介をいただいた後、異先生との掛け合いから、各地域の食材や食文化 × 地質学から見えることなどをフリートークし、ジオストーリーを見出します。

## ＜ナビゲーター 岡田一雄氏 プロフィール＞

広告代理店からデザイン会社に転身し以来40年以上ブランディングの実務に携わってきた。高校の同級生である異さんと共に神戸大学のブランディング戦略「海の神戸大学」にこの3年取り組んできた。その後二人でジオリブ研究所を立ち上げ、プロデューサーとして「美食地質学」を地方創生や誘客多角化のツール、発想法として広め、根付かせることに意欲を燃やしている。

活動エリア	地域の水先案内人	プロフィール
福井県内各地	◆佐々木京美さん (福井郷土料理研究家・フードディレクター)	2003年より自宅横に設けた石窯工房にて、地元の季節の食材とパンを組み合わせた野の花工房「石窯体験教室」を開催。2007年より石窯パンを買いだめしたいとの声を受け、「季節の野の花便り」として月に3日のみの予約制の石窯パンセットネット販売を開始。柴田書店月刊誌「カフェスイーツ」にて7ページ掲載され大きな反響を呼ぶ。2011年からは、地域の食文化を残す大切さを痛感し、農林水産省6次化プランナーとしての活動を始め、県内の一次産業者さんと商品開発に取り組むと同時に郷土料理のプロデュースも始める。「黄金の梅」や「水ようかん」等福井の既存のものを再構築しブランド化。また伝統食材を使った食イベント等の料理プロデュース、商品開発、福井の郷土料理を次世代に繋ぐ事等をメインに活動中。 <a href="https://www.sasakikiyomi.com/">https://www.sasakikiyomi.com/</a>
福井市	◆多田健太郎さん (糀米五 代表取締役)	天保2年創業、永平寺御用達の唯一の福井の味噌屋「米五のみそ」の十二代目に当たる若旦那。伝統的な製法、地産地消へのこだわりを守り続ける一方で、みそのテーマパーク「みそ楽」の運営、味噌蔵見学、小学生向けの味噌づくり教室、新商品やコラボ商品開発等々、味噌文化の発信・継承・進化に動む。 「株式会社米五」 <a href="https://www.komego.com/">https://www.komego.com/</a> 「みそ楽」 <a href="https://www.misoraku.com/">https://www.misoraku.com/</a>
福井市 越前海岸 盛り上げ隊	◆志野佑介さん (志野製塩所・しの屋)  ◆松平裕子さん (元地域おこし協力隊・日本ワーケーション協会公認ワーケーションコンシェルジュ)	2019年に福井市越前海岸に移住。豊かな山海の恵みを活かし稲作、畑作、果樹、平飼養鶏(海たて山たまご)など農業、海土としての漁業、製塩業と百笑(百姓)の暮らしを営む、第一次産業オタク。越前海岸の鮎川町にて、製塩体験もできる「志野製塩所」 <a href="https://anoh.jp/">https://anoh.jp/</a> 、「ヒトモノコトを伝え繋がる商店、しの屋」 <a href="https://shinoya004.stores.jp/">https://shinoya004.stores.jp/</a> を丁寧に営む。  東京やシンガポールで長年、秘書として勤めた経歴を持ちながら、2018年11月に福井市の山間部にある殿下(でんが)地区に移住し、地域おこし協力隊として活動。同地区の高齢化率は市内で最も高く、安心して暮らせる地域づくりを進める一方、地方移住者のモデルケースとして若者呼び込み活動にも取り組む。伝統食「葉ずし」の継承、地域資源を活かした体験プログラムの企画、教育旅行の受け入れやワーケーションの促進にも取り組んでいる。 <a href="https://makef.jp/pin/focus/fid496/">https://makef.jp/pin/focus/fid496/</a>



大地の声、人々の営みに耳を傾け、交流&発信！  
未来の地域づくりに繋げる1年間！

# 地域 ものがたる アンバサダー

美食地質学×第2のふるさとを巡る旅



おいしい旅物語へ、  
ご一緒に！  
Dr. TATSUMI

2022年6月から、鳥取県・福井県・富山県にて「地域ものがたるアンバサダー」活動がはじまっています。オンラインや現地で楽しめるプログラムが満載です！  
ご一緒に美食地質学を学んだり、日本海3県のあらたな魅力発掘を楽しみましょう。

## あなたには、第2のふるさとはありますか？

Withコロナのライフスタイルにも慣れてきた2022年。  
「ただの観光旅行ではもたない。  
故郷以外にも自分にとって特別な関わりをもてる地域をつくれたら」という方へ。  
「愛おしいと思える地域の力になれば。  
地域固有の文化をもっと知り、磨くことができれば」という方へ。

2022年、私たちと一緒に、ありのままの地域の姿を再発見し、  
地域の方々の営みに共感し、一緒に考え、発信し、  
未来の地域づくりに繋がる  
「地域ものがたり」を見出すアンバサダーを、日本海3県にて募集します。

3地域と新しい関係性を紡ぐ旅へ一緒に旅立ちましょう。

主催：日本海3県アンバサダー推進協議会

## ものがたるって何？

日本列島の成り立ちや厳しい自然環境から生まれた食文化や郷土料理の「ものがたり」に耳を傾けたり。  
地域で活動する方々から「ものがたり」を引き出し、  
自分の言葉にして伝えていったり。  
地域の価値を育て、新しい「ものがたり」としてビジネスに発展させたり。  
いくつもの「ものがたり」と出会いながら、  
地域と深く関わり、魅力を磨き、紡いでいくことを「ものがたる」と表現しました。

## 美食地質学って何？

日本列島は世界で最も地震と火山が密集する「変動帯」。  
だからこそ、多様な食材と食文化が育まれてきたといえます。  
災害列島日本の厳しくも豊かな自然環境や四季のめぐみを生かしながら、  
地域独自の文化が形成されてきた食文化。  
これまでの歩みに学びながら、これからの地域の食と暮らしと  
交流のあり方についても考えます。

ジオリブ研究所 所長 巽好幸

巽好幸の  
美食地質学



## 2022年度のスケジュール

毎月1回ずつ程度、オンライン作戦会議と現地訪問を繰り返していくことで、  
地域との関わり合いを深めていきます。

美食地質学と  
ジオリブの旅

	全体	富山チーム活動	福井チーム活動	鳥取チーム活動
6月	アンバサダー任命 キックオフ会 (ガイダンス オンライン)	南砺・ 庄川流域 エリア	福井市 エリア	ジオ公開講座 (現地探訪)
7月			ジオ公開講座 (現地探訪)	大山町・ 北栄町 エリア
8月		立山町 エリア		
9月	中間まとめフォーラム	ジオ公開講座 (現地探訪)		
10月		富山湾 エリア	若狭湾 エリア	鳥取市 エリア
11月			ジオ交流 (現地探訪)	ジオ交流 (現地探訪)
12月	地域越境振り返り会			
2023年1月	全体まとめフォーラム			

※スケジュールは現時点での予定であり、今後変更の可能性あります。

さあ、あなたは、どの県でもものがたる？



主催：日本海3県アンバサダー推進協議会

連携自治体：鳥取県、富山県、福井県、公益社団法人 福井県観光連盟

共同推進者：西日本旅客鉄道株式会社、株式会社JR西日本コミュニケーションズ、  
ジオリブ研究所合同会社、一般社団法人Work Design Lab

※本事業は、観光庁が推進する令和4年度「第2のふるさとづくりプロジェクト」  
モデル実証事業の採択を受け実施するものです。

公式HP、Facebook、  
ジオリブ公開講座の参加申込  
などはこちらから→

